

《 谷 中 地 区 町 会 連 合 会 》

日時：9月2日（金） 午後3時から（会 場：谷中区民館）

◇町会との連携強化を切に願う

| 質問 | 回答 | 対応 |
|--|---|----|
| <p>寛永寺から谷中霊園に通じる桜並木は人々の集うメインストリートであり、町の財産です。</p> <p>先日、桜並木の住民から「区と警察の許可が下りて、明日、桜並木の桜を3本抜いて移設する」との報告がありました。以前にも桜は2本伐採されており、今回も我々に何の説明もなく残りの3本を抜くという計画が行われようとしていました。</p> <p>申請をした住民とその業者とは話し合いの機会を持ち、申請を取り下げてくださいましたが、台東区においても、住民の代表である町会への事前の相談をいただければと思います。</p> <p>我々町会は日々、住民の暮らしの安全と安心、住みやすさを第一に考えています。古き良き町並みや住環境も次の世代に引き継ぎたいと思います。これからも台東区と町会が手を携えてまいりたいと思いますので、さらなる連携の強化をお願いします。</p> | <p>この度、沿道の方より、道路法に基づく工事の申請がありました。この申請は、沿道の方が建物の建築や解体、または車庫とする際、支障となる道路上のガードレールや街路灯、樹木の撤去・移設等を行うために必要となるものです。</p> <p>区では申請を受け、最低限必要と思われる範囲において承認しました。その際に、申請者の責任において近隣への工事説明を丁寧に行うこと、また樹木については撤去ではなく、移植を原則とすることを指導しました。</p> <p>今回の件を受け、近隣への工事説明をしっかり行い、そして、地域の方にも配慮するよう申請者に対する指導を徹底してまいります。</p> <p>今後もみどりの環境確保に取り組んでまいります。</p> | ◇ |

◇谷中地区防災対策の緊急性について

| 質問 | 回答 | 対応 |
|--|--|----------|
| <p>今年5月、東京都は10年ぶりに首都直下地震の想定を見直し、大田区付近を震源とするM7.3の“都心南部直下地震”で死者約6,100人、約194,400棟の建物が全壊・焼失する予測となりました。</p> <p>また、谷中地区は木造の住宅が密集しており、仮に阪神淡路大震災と同程度の地震が発生した場合、建物の多くが焼失し、倒壊や延焼により地域住民の相当数が避難できなくなるなど、甚大な被害を受けることが区でも推測されています。</p> <p>さらに、谷中地区には歴史的な有形文化財が多数存在し、災害発生時に東京消防庁の積極的な消火活動の恩恵を十分に享受できない懸念があり、地域住民自らの積極的な消火活動が不可欠となります。</p> <p>消防技術安全所の報告によると、排水栓の給水能力に関する検証には十分な効果が結論付けられており、地域への給水ポンプ設置は極めて有効な対策処置と考えられます。台東区として谷中地区に給水ポンプの設置など、期限をもったかつ具体的な計画等はあるか伺いたと思います。</p> | <p>谷中地区は、狭小幅員の道路や木造住宅が多く存在する地区であり、大規模な地震が発生し、消防隊が火災現場に駆けつけられなかった場合、地域の皆様で初期消火活動を行っていただくことも考えられます。</p> <p>今回の首都直下地震の被害想定でも、改めて地域住民の方の初期消火活動の必要性や有効性が言われています。</p> <p>そのため、区では消火器のほかに、地域住民の方が使用する初期消火資器材として、全避難所に「D級ポンプ」、「スタンドパイプ」の配備を進めてまいりました。谷中地区についても、谷中小学校、上野中学校、都立上野高等学校に配備しています。特に火災危険度の高い地域であると指定されている谷中2・3・5丁目には、避難所以外にも配備しています。さらに、貯水槽と防火水槽を設置しており、飲料水の備えとして深井戸があります。</p> <p>資器材の再配置については、今年9月に国から「地震に関する地域危険度測定調査報告書」が発表されますので、町会の皆様と協議させていただきたいと思えます。</p> <p>また、「谷中地区まちづくり協議会防災対策部会」の活動支援を行い、谷中地区の地域防災に対する機運醸成に努めています。</p> <p>引き続き防災活動の支援や助成制度により、安心して暮らせる防災まちづくりを進めてまいります。</p> | <p>—</p> |

◇谷中地区防犯対策の緊急性について

| 質問 | 回答 | 対応 |
|---|--|----------|
| <p>観光地にとって問題となるのが、外国人や観光客による犯罪など「治安の維持・防犯対策」です。</p> <p>防犯カメラで効率よく地域を守ることが効果的かつ具体的な対策と考えます。この度の区からの防犯カメラ設置の意向調査は、まさにタイミング的にも適切適宜な防犯対策であり、評価期待をしています。</p> <p>一方、谷中地区の観光地化は他の地域とは異なり、インバウンドゲストのみならず、メディアによる懐古趣味的ともとられる報道の影響結果が大きいことや、近年速いスピードで観光地化と大手民間会社による開発が並行して進んでいるなどの特殊性があります。</p> <p>谷中地区に関して、この度の防犯カメラ設置事業における何らかの上乗せ特例処置等、今後のさらなる防犯対策検討の可能性についてお伺いしたいと思います。</p> | <p>谷中に様々な方が訪れることは、喜ばしい反面、観光地での「治安の維持・防犯対策」も必要です。</p> <p>防犯カメラの設置は、犯罪の抑止、事件の解決などにとっても有効であると考えているので、町会や商店会等の地域団体の防犯力向上のために、設置に係る費用の一部を補助しています。</p> <p>上乗せ特例や新たな補助制度の予定はありませんが、現在、設置後の保守や修繕、電気代や電柱使用料への補助を行っているところ です。</p> <p>これまでも外国人観光客に対しては、マナーや生活習慣の違いによるトラブルを防ぐため、飲食店や宿泊施設などを通じたパンフレットの配付や、全6言語のSNSでの情報発信などにより、マナー啓発に努めてまいりました。</p> <p>今後も地元警察署等と情報の共有を図り、観光客や外国人による犯罪の抑止、安全確保の両面から適切に対応してまいります。</p> <p>さらに、谷中地区まちづくり協議会にて、「朝倉彫塑館通り」沿道5町会の町会長と沿道住民、お店、寺院の方々を交えて今年7月に立ち上げた専門部会を通じ、来街者、景観保全、新住民対応などの問題を話し合い、住み続けられるまちであるための考え方をまとめていくと伺っています。区としても、そこで得られたご意見を基に対策を考えてまいります。</p> | <p>—</p> |

◇道路補修について

| 質問 | 回答 | 対応 |
|--|---|----------|
| <p>近年震災対策でガス・水道の工事がいたるところで行われています。公道上の工事については施工後全面舗装が実施されますが、私道については工作箇所の補修で終了してしまいます。</p> <p>地境石を埋めるわけにはいかないとの理由で、どうしても窪みができます。そこに水たまりができて歩行者の障害になります。</p> <p>工事終了後、区の指導で平らにすることはできませんか。また、砂利道、でこぼこ道の私道の補修に区が補助する仕組みはないですか。</p> | <p>区では、不特定多数の人や自転車などが通行する公共性の高い私道について、「東京都台東区私道整備の助成に関する規則」により、工事費の一部または全額の助成を行っています。</p> <p>助成については私道全体の整備となること、土地所有者全員の承諾が必要となることなどの要件があります。</p> <p>お困りの私道について、担当の土木課から連絡をし、会長と一緒に現地を確認させていただきたいと思います。</p> <p>※令和4年10月、会長立会いのもと、現地状況を確認し、区の助成の要件を説明しました。（土木課）</p> | <p>—</p> |